

## 第2期 奈良県食育推進計画案に対する意見および対応について（食育推進会議委員）

	委員からの意見	反映・対応について
P13 新規の取り組み 野村委員	<p>各事業者が自分のととできる形で主体的に工夫するよう働きかける必要がある。「特にノーマルな事業者を活用して、男性が食品販売店に買い物に行く呼びかけを行う」の箇所に主語は事業者でしようか、それとも？ 従来通りレシビを配るコーナーを設けるだけに男は残念に思う。食に関心を持ってもらうことは、男女共同参画の視点からも男性個人の自らの健康管理力のアップの視点からも、一番楽しく取り組むやすいところだと思おうので、課題に対する対策として有効だと思おう。ぜひ取り組みを検討したい箇所である。</p>	<p>具体的な取り組み対策について、食育推進会議で検討していく。</p>
P12 高齢期 野村委員	<p>低栄養、については孤食・買い物困難・調理困難等 高齢者福祉の分野ととても関連が強い。行政（市町村？）と福祉事業者、食品販売事業者が協力してできるともああると思うので（ホームヘルプサービス、弁当宅配や食材の配達、移動販売車等）、そこを対策の文言のなかに付加することはできないか。</p>	<p>長寿社会課と調整し対策を追加。</p>
概要 食育に関する現状と課題 野村委員	<p>肉の日に高齢者のみに割引キャンペーンというのは可能なのか？ 男性を抽出するよりさらに難しいと思う。</p>	<p>具体的な方法については今後検討していく。</p>
P20 若い世代のダイエットが将来の骨粗鬆症・・・（少年期の指標） 奥田委員	<p>【現状】は下の【課題】にひとつひとつ対応している表記のしかたではないとは思おうが、やはり【現状】の方にも「成人ではよく噛んで食べることの意識が低い」ということを入れておいてはどうか。</p>	<p>【現状】に追加。</p>
	<p>少し肥満の生徒が体重を少し落とすのは成長に悪影響があるのか。ダイエットという言葉は、体重を落とすことを意味すると思おうが。</p>	<p>若い世代のダイエット            →若い世代の少食、偏食がと修正する。</p>